

HLAB OBUSE 2017 参加内容

○Seminar…1週間のうち4日間あり、3つのセミナーをとる

① Living matter : a course focused on Self-improvement and healthy

② Regeneration for this generation : Stem cells, Cloning

③ The secret to Creativity & Success : Using the Arts to become better at any task

②のセミナーは希望していたものではなく、難しい内容でしたが、一番学びを深められました。

○Homestay : お寺にホームステイさせていただきました。(座禅やお経も体験しました！足がしびれる！)

○Obuse's God Talent : 希望者が参加でき、私も参加しました。もちろんダンス！まさかの大トリ。もの凄く盛り上がってうれしかったです。

○Free Interaction : 自分自身とは何か、何を将来したいのかを木の絵や質問に答えながら深く見つめられました。(自己分析)

○Reflection : 1日の振り返りなどをハウスの中で分かち合う時間。また、内容は定められておらず、自分の考えを言葉にする。この時間でハウスの絆を深めることができました。

○Life Talk : 海外大学生や日本人大学生のバックグラウンドを紹介してもらう。

※他にも様々な活動を行いました。

○わかったこと、驚いたこと、伝えたいこと

Reflection の時間でハーバード大学に通う日本人の古川あかりさんが共有してくれた話です。

彼女は入学当初、周りのハーバード生は皆、「完璧」に見えたそうです。ルームメイトは天才数学者で数々の賞を総なめにしていたり、たまたま授業で隣に座っていたのは最年少でシヨパンコンクールに入賞したピアニスト。彼らと自分を比較し、悩んでいたそうです。

しかし、ある日寮に戻るとルームメイトが泣きじゃくっていたそうです。理由を聞くと、小テストや課題に追われ、疲れてしまったと。その時、あかりさんは、「全て完璧に見える彼女でも、悩んだり、泣きじゃくることがあるんだ。」と思ったそうです。

この話を聞いて、完璧な人なんて誰一人いないんだと気づかされました。サマースクールのハウスのメンバーは東大生、ハーバード大生、コロンビア大生、何カ国語も話せる人、自分がどれだけ「何もできないのか」、英語を得意としていたのに、もっともっと話せる人たちがいて自信を失いかけていましたが、励まされました。

同じ高校生なのに起業している人がいたり、イベントを立ち上げる人、ビジネスコンテストに出たり、「凄い」人たちがばっかでした。

自分がいかに平凡か思い知らされました。

小布施で過ごしたあの一週間は本当にキラキラしていて濃すぎるくらい充実していました。言語化するのがとても難しいです。でも、もし HLAB に参加していなかったら…と考えると怖いんです。それはきっと私にたくさん影響を与えてくれて、まさに「人生を変える!？」ものだったからだと思います。そして私が HLAB で出会った人たちは必ず、将来大物になったり日本だけでなく世界で活躍する人たちだなと思いました。そんな凄い人たちとどこかで再会したときに、自分の夢を叶えて、自分に誇りを持って、キラキラしている私でいたいと思いました。